

令和6年4月1日

アジア・オセアニア研究教育機構（海外実装部門）の
准教授（コーディネーター）の公募について

九州大学は、アジア・オセアニア地域で今日生じている社会的課題の解決、さらには将来生起することが予想される社会問題の発生抑制に貢献することを通じて、未来を拓く新たな学問領域の構築を目指し、2019年4月に「アジア・オセアニア研究教育機構」を創設しました。

このたび、下記のとおり、本機構の専任教員を広く国際公募いたします。本機構の詳細については、ホームページ <http://q-aos.kyushu-u.ac.jp/> をご参照ください。

1. 職名・人員：准教授（テニュアトラック）・2名

（雇用期間は採用日から原則5年間。テニュアトラック期間の終了までにテニュア審査を実施。ただし、すでに本学と雇用関係がある場合、期間が変更になる可能性がある。）

2. 所属：アジア・オセアニア研究教育機構 海外実装部門（令和6年4月設置）

3. 職務：

（1）研究者としての業務

- クラスタ¹⁾ならびにモジュール²⁾を跨ぐ学際的研究を研究代表者として推進する。

（2）コーディネーター（海外実装部門³⁾）としての職務

- オンデマンド・オンサイト活動を強力に推進するため、アジア・オセアニア地域において人的ネットワークの構築を推進する。
- アジア・オセアニア地域でのオンサイト研究教育活動（KYUDAI NOW、同窓生懇談会、プレエントランス教育、ポスト博士教育等）を企画・実施する。
- 機構の研究教育成果の社会実装や社会的課題の解決に向けた活動を主導する。
- 機構のアウトリーチ活動（アジアウィーク、BBS（ブラウンバックセミナー）⁴⁾等）を実施する。
- クラスタならびにモジュールの研究動向や研究成果を把握し、新たな価値の創造につながる取り組みを企画・実施する。

1) クラスタ

SDGsの17ゴールを念頭に大きな括り（自然、産業、健康、社会）により社会課題を設定の上、本学の強みとする分野の融合・協働を更に加速させることを目的とした学際的・融合的学問ユニット。

2)モジュール

クラスターの下に置かれる特定の研究対象や社会問題を設定した学際的な研究者グループ。

3)海外実装部門

本機構が、これまでに蓄積してきた研究成果や国際ネットワークをもとに、アジア・オセアニア地域で要望の強い課題（オンデマンド）に関連する新たな教育・研究プログラムを現地（オンサイト）において実施する仕組みを開発・実装し、現地の課題解決に情熱を持つ優秀な人材を確保するとともに、リカレント教育・リスクリングを通じた頭脳循環を実現するため、新部門として令和6年度に設置。

4)BBS（ブラウンバッグセミナー）

本学におけるアジア・オセアニア地域やSDGsに関連する最新の研究活動の周知、異分野研究ネットワークや交流の場の提供を目的として、本機構が毎週水曜日のランチタイムに実施しているセミナー。

4. 応募条件：次の各号の条件を満たす者

- (1) 博士又は修士の学位を有する若手研究者(学位取得後概ね10年以内)。
なお、修士の学位を有する者については、本機構在職中に博士取得を希望する者。
- (2) 4つのクラスターのいずれかと関連性のある専門分野・領域の研究者。
- (3) 社会開発、国際開発、国際協力などの視点から、社会実装への道筋を明確にした研究戦略の立案に意欲的である人材。
- (4) 競争的資金等の獲得実績を有するか、獲得に強い意欲を持つ者または国際共同研究プロジェクトの運営実績を有する者。
- (5) 国内外の社会的課題の解決・発掘・提示に意欲的に取り組むことができること。
- (6) 国際機関・政府・自治体・研究機関等との連携に関して意欲を有する者。
- (7) 高いマネジメント能力と倫理観を有する者。
- (8) 海外に赴き、現地での活動に携わることができる者。

5. 着任時期：令和6年10月1日（ただし、選考状況により前後する可能性あり）

6. 勤務地：九州大学伊都キャンパス

7. 待遇：経験等に基づき本学の関係規程により決定

8. 提出書類

- (1) [応募者情報シート](#)
- (2) 履歴書（A4版、写真貼付、学歴、職歴、資格を記載、連絡先とメールアドレスを明記）。
- (3) 研究、教育、組織運営等に関する実績目録（例：論文・著書、学会発表・講演等の研

究教育活動、公開講座等の社会活動、国際機関の役職等国際機関における活動、国際機関・政府・自治体・研究機関等との連携に関する経験等)。

- (4) 上記(3)の業績のうち主要なもの5件以内 各1部(それぞれに簡潔な概要を添付すること)。
- (5) 競争的資金等の獲得実績。
- (6) これまでの業務概要と着任後の業務に関する抱負(A4版2~3枚程度)。
- (7) 応募者について問い合わせのできる方3名の氏名と連絡先及びそのうち少なくとも1名からの推薦状。

※推薦状は推薦者の方から直接、「11.書類提出先」に記載のメールアドレスへ提出すること。

9. 応募期限：令和6年5月31日(金)17時(必着)

10. 選考方法：書類選考による一次選考、面接による二次選考を実施します。

※面接の際の旅費・滞在費は応募者の自己負担とします。

※海外在住の方はZoom等による遠隔面接も可能ですので、必要な際は12. 問い合わせ先まで御連絡ください。

11. 書類提出先：aoshien@jimu.kyushu-u.ac.jp (オンラインで提出)

※まず、件名を「准教授応募」としたメールを下記アドレスへお送りください。提出書類のアップロード方法について返信します。3営業日経っても返信がない場合はお電話(092-802-2606)でご連絡ください。提出された書類は原則として返却しません。

ただし、推薦状は推薦者の方から直接、上記メールアドレスまで提出ください。

12. 問合せ先：九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構 副機構長 原田 明

TEL：092-802-2606

E-mail：aoshien@jimu.kyushu-u.ac.jp

13. その他：

- ・九州大学では、男女共同参画社会基本法(平成11年法律第78号)の精神に則り、教員選考を行います。(男女共同参画推進室 <http://danjyo.kyushu-u.ac.jp/>)
- ・九州大学では、「障害者基本法(昭和45年法律第84号)」、「障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和35年法律第123号)」及び「障害を理由とする差別の解消の促進に関する法律(平成25年法律第65号)」の趣旨に則り、教員の選考を行います。

- ・九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- ・過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記入願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。
- ・提出書類は選考以外の目的には使用しません。
- ・受動喫煙防止措置の状況：敷地内全面禁煙。